

# 白山社会学会ニュースレター

発行/白山社会学会 <http://www.geocities.co.jp/Berkeley/6234> 事務局/〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20 東洋大学社会学部気付郵便振替「00160-8-134254 白山社会学会」 年会費 5000 円・学生会費 3000 円・入会費なし・寄付金歓迎

## 今年度共通テーマ「世代と大衆文化」

今年度も「世代」の問題を継承し、「世代と大衆文化」というテーマが選ばれました。

## <世代と大衆文化>フォーラム開催予定

日時：9月17日（金）午後13：30～17：00

会場：浦水会館4階（白山）

司会：高橋直之（東洋大学社会学部）

発表：石丸純一（東洋大学・非常勤講師）

「世紀末の世代と文化—ジンメル文化論を手がかりに—」  
ゲオルグ・ジンメル（1858-1918）は形式社会学の提唱で知られているが、第1期（19世紀末）から「人間相互の関係形式に関する科学」を打ち出し、大衆文化の先駆的分析を行った。第1次世界大戦前の「退廃したベルリン」での、彼の思想的営為の検討を通じて、現代への視座を考察する。（文貴・松本）

発表：新井克弥（宮崎公立大学人文学部）

「世紀末世代のコミュニケーション」

現代の若者におけるコミュニケーション状況の変化をカルチュラルスタディーズの立場に依拠しながらメディア環境、メディア機器との関わりで展開する、といったところになります。具体的にはメディア社会化の進行に伴って、価値観を相対化させ、それが個々人の嗜好に基づく新たな価値基準（たとえば「マイブーム」「マイスタンダード」といった言葉に象徴されるような）にを創り出している。ただし、それは全くの個人の嗜好に基づくのではなく、彼が選択したマイクロコスモスとの関わりの中でメディアの運用法方が決定され、それが新しいコミュニケーションモードを形成しつつある。

学会ではこれら前提を述べた後、現在の具体的な状況について展開、最終的に若者論へと話を振って行くという流れにしようかと考えています。（新井記）

## 来年4月より社会学部は新5学科体制に

社会学部では、社会学科、社会文化システム学科（新設）、社会心理学科（新設）、メディアコミュニケーション学科（新設）、社会福祉学科の5学科体制に大きく変わるため、文部省に認可申請をしていましたが、過日「設置審査で認可」の報道がありました。

## 児童館・学童保育関連卒業論文等発表会 開催

「児童館・学童保育21世紀委員会」及び「子どもと社会教育の会」との共催で『児童館・学童保育関連卒業論文等発表会』が1999年3月14日（日）午前10時から午後4時30分まで新1号館1407教室で行われた。

暖房がなかったが、学生発表者をはじめ、共催関係者によって、現役の児童館関係者が多数出席し、発表会は熱気で盛り上がった。午後の座長を務めた立柳聡氏が基調報告を行った「第9回がんばれ東京の児童館研究集会'99」(2/21)で参加を呼び掛けた関係もあって、館長や指導員、OBが参加した。現場の生の声が質疑応答の中に反映され、発表者が改めて真実を知るチャンスを与えられ、講評の「児童館・学童保育を愛する学生の皆さんに捧げるエール」というサブタイトルが奇しくも文字どおり実現した形となった。

児童館の館長職を兼任している事務局員の市川（荒川区役所）も出席し、森田事務局次長共々会の裏方を務め、懇親会も、座長、共催関係者、現役の人々の応援もあって、学生諸君を大いに激励した。（市川記）

### 第I部：学童保育関連卒業論文等発表会

座長：植木信一（新潟県立女子短期大学）

「障害児の放課後保障について」

鈴木陽子（東洋大学社会学部）

「障害児の放課後保障と学童保育」

深谷真弓（東洋大学社会学部）

「障害をもつ子どもの放課後生活と学童保育」

池田聡子（東洋大学社会学部）

「スウェーデンの学童保育実践」

志濃原亜美（日本福祉大学大学院）

### 第II部：児童館関連卒業論文等発表会

座長：立柳聡（東京学芸大）

「都心の児童館と郊外の児童館」

小松政毅（明治大学文学部）

「子どもの学校外教育の場としての児童館」

南沢実保子（明治大学文学部）

「子どもの居場所としての児童館」

布施美沙子（法政大学社会学部）

「グループ活動—上野児童館における1・2年生グループの1年間の実践」

小島功一（明治大学文学部）

講評の座談会「児童館・学童保育を愛する学生の皆さんに捧げるエール」

小木美代子（日本福祉大学、児童館学童保育21世紀委員会代表）

森田明美（東洋大学、白山社会学会事務局次長）

立柳聡（東京学芸大学、子どもと社会教育の会主宰）

## 第17回 白山社会学会大会

12月18日(土) 雨水会館(白山)で總會・大会を開催の予定です。

自由報告発表希望を運営委員までご連絡下さい。

## 『社会学部40周年記念論集』刊行される

1959年に社会学部が創設されて40周年になります。記念論集が3月に刊行されました。構成は以下の通り。

書名『東洋大学社会学部40周年記念論文集』

まえがき

社会学部長 西山 茂

### 第I部 人と業績

戸田貞三論—家族論を中心として	清水 浩昭
田辺寿利の社会学的精神—知の軌道	小林幸一郎
鈴木榮太郎先生の日本社会研究	藤木三千人
千葉雄次郎先生—初代社会学部長	竹内 信郎
小山隆の実証的家族研究	老川 寛
塚本哲—社会福祉の実践と理論	天野 マキ
磯村英一—同時代と未来の都市への未完の問い	奥田 道大

米林富男—『東洋大学社会学部』の救い主

奥田 道大

呉主恵・民族社会学の構想と展開—国際社会学への視座

喜多川豊宇

和田吉人先生と図書館学専攻

岩瀬 泰郎

福越忠恕先生の御業績について

酒井 俊二

### 第II部 研究と教育

社会学教育と民主主義的市民社会

中山 伸樹

人類学の世界化

松本 誠一

戦後日本におけるジャーナリズム問題の展開

広瀬 英彦

社会心理学の位置—社会心理学の現状をどう見るか

稲木 哲郎

東洋大学における社会福祉学教育の展開

山手 茂

あとがき

編纂委員長 藤木三千人

15.5cm × 21.5cm、3+276頁。非売品です。入手希望者は古川孝順学部長宛にお申し込み下さい。なお、残部には限りがありますので、その点お含み置き下さい。

## 『白山社会学研究』第7号を発行

遅くなりましたが、7月に第7号の印刷が出来上がりましたので、本ニュースレターと同封にてお送りします。引き続き、第8号の原稿を募集します。

バックナンバーは大学生協を通じて購入できます。

## 学内情報

・学部長は西山茂教授から古川孝順教授に交代  
新しい学部・大学院の役職者は下記の通りです。

学部長は古川孝順教授(社会福祉学科)、社会学科主任に細井洋子教授、第2部社会学科主任に喜多川豊宇教授(社会学科)、応用社会学科主任に大島尚教授(社会心理学専攻)、社会心理学専攻主任に北村英哉助教授、マスコミ専攻主任に島崎哲彦助教授、図書館学専攻主任に岩瀬泰郎教授、社会福祉学科主任に秋元美世教授。

大学院社会学研究科委員長に広瀬英彦教授、社会学専攻主任に末成道男教授、社会福祉学専攻主任に園田恭一教授、福祉社会システム専攻主任に大友信勝教授。

・教養課程解散式が2000年3月に開催される予定。教養教育は今後、各学部で担うことになります。

・白山校地では第3期工事が進んでいます。朝霞・板倉でも新校舎建設工事が始まります。

## 福祉社会システム専攻修了者の集い・発足

福祉社会システム専攻は開設されて4年目を迎えました。これまでの修了生の数は60名になります。過日、修了生の連絡組織として「修了生の集い」が発足し、初代代表に藤田博仁氏(新宿区役所福祉部)が選出されました。

修了生の職種は、国・地方自治体の公務員、大学・専門学校・高校教員、福祉関係施設・NPO・NGO等の職員、民間シンクタンク研究員等、多士済々の人材揃いです。今後、それぞれの得意・専門を活かしたネットワークは強力な拠り所として機能することが期待されます。

## 事務局よりお願い・お知らせ

会費納入は郵便振替「00160-8-134254 白山社会学会」でお願いします。銀行からの振込はどなたから送られてきたか、よく分からない場合がありますので、止めて下さい。

先日の運営委員会で、立柳聡氏(4月より福島県立医科大学)に児童館・学童保育関連卒業発表会担当の事務局員を依頼することになりました。

以下の方々の、連絡先をご存じの方は事務局までお知らせ下さい。

池田和彦、内山淳、鈴木慶三、高橋甫子、高橋重宏、武田良子、鄭延元、畑岡隆、牧田源司、森本佳樹、吉田巧(敬称略)。

(文責・松本)